

愛 労 連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町9-7
労働会館東館3F
TEL 052-871-5433
FAX 052-871-5618
URL http://www.airoren.gr.jp
発行人 樽松佐一
第107号 2002年6月10日

婦人協第13回定期総会

とき 6月22日(土) 13:00から
ところ 労働会館2F会議室

愛労連第27回定期大会

とき 7月21日(日)10:00から
ところ 名古屋市熱田区役所ホール

非暴力で平和的に解決する備えこそ

5000人元気がなった6.2県民集会



思いもよりの横断幕やプラカードを持ての参加が目立ちました



国会では「医療改善」「有事法制」「個人情報」「郵政民営化」法案をめぐって攻防が続いていますが、内閣支持率の急落や日本総領事館への「亡命者事件」、防衛庁の個人情報調査、福田官房長官の非核三原則見直し発言など、小泉内閣は最大の窮地を迎えています。会期を大幅に延長して強行はかろうと画策していますが、これを許さぬ共同は大きく広がり悪法を阻止する可能性は高まっています。

こうした中で開かれた「ストップ・ザ・有事法制／憲法を守る6・2愛知県民集会」は、33団体の労組・市民団体・宗教者・政党など5000人が参加し、愛知では22年ぶりという共産党と社民党の共同も実っています。



共同連絡会の横断幕を先頭に

5月6日に東京を出発した平和行進は、5月31日に愛知県入りしました。愛知では国民・市民両平和行進の共同2年目。有事法制強行のために会期延長を狙う小泉内閣や福田官房長官の非核三原則見直し発言に対して大きな怒りと行進への共感がひろがっています。

平和行進愛知入り

被爆国日本を核加害国にはさせない!

有事法制・非核三原則見直し発言



三河市民生協ケアコープ豊橋 山本喜子さん 豊田佳代さん

初参加です。こんなにたくさんの方が歩いてビックリ、感動！仕事はデイサービスやショートステイの介護職員。職場の高齢者の人たちの話でも、戦争の話はよく出る。有事法制なんてとんでもないですね。今日の感動など話していけたらと思います。



愛知国公・全労働 水門祐樹さん 谷口佳昭さん

初めて参加しました。組合のリレー旗を掲げて元気よく行進しました。戦争は反対、原爆のこと忘れないように歩こうと思います。沿道の人にも平和の想い、受け止めてもらえたら嬉しいです。

有事法制は、他で起こった戦争でも、日本が巻き込まれる。公務員でもあり敏感にならなくちゃ。こういう運動、日本でも世界でももっと広がればと思っています。

孫子のためにも... 有事法制必ずつぶす

5・24大集会に4万人



年金者組合 鳥居市男さん

「STOP/有事法制/5・24大集会」が陸・海・空・港湾20労組・宗教者ネットなどの主催で東京・明治公園で開かれ、4万人の大集会となりました。愛知からは40名が参

加。集会に先だって衆参地元国会議員に「有事法制反対」で要請しました。年金者組合知多支部の鳥居市男さんは「孫子のためにも戦争は絶対反対/小泉内閣の靖国参拝も医療改善など構造改革もみんな日本を戦争する国にするのがねらい。運動を上げ有事法制を絶対につぶす」と決意を語ってくれました。

愛労連青年協 やっぱり平和でナイト!



ゴン太君も有事法制反対

金曜夜8時、金山総合駅は多くの若者でにぎわっています。愛労連青年協は5月24日、「平和でナイト」と銘打った有事法制に反対する宣伝行動を呼びかけ、12名の仲間が元気よく訴えました。解雇争議をたたかうタケヤマから3人の青年も参加しました。

県中央メーデーでデビューした建交労青年部の「ゴン太」君も参加して、女性たちにも大人気でした。

こらも

「大地震がきて外人が騒乱をおこしたらどうする」「だから有事法制」と自民党M議員秘書、日韓共催でワールドカップの時代にいったい何を考えているのか、「行政機関はそういうこと(違法行為)をしないことになっている」と福田官房長官。そう言った矢先に防衛庁による個人情報調査が明らかになった。情報公開請求した人の身元や思想を調査しリストを上司に配布した。今の法律では外部に出せば機密漏洩で処分されるが内部で悪用しても罰則はない。個人情報保護法案では、政治家の悪事告発は個人情報保護法に規制して、一方で国民を監視する違法行為は罰せられない。中谷防衛庁長官は「あつてはならないことが起こった」と言うが政府は法案を変えようとはしていない。インドとパキスタンで核戦争の危機。インドにいる米国民に国外退去の指示が出され世界に不安が広がっている。そこで前出の福田官房長官「(日本も核兵器を)専守防衛なら持つことができない」と見解。本人は阿部副長官をフォローしたつもりだったがフォロイになつてない。小泉ジャパンは強気の攻勢に出ているが身内からエラーとファウルが続出している。代々木公園でのSTOP/有事法制6・16中央集会、いのちと暮らしを守るために小泉内閣を退場に。(k)

中村労働相談所が開所

働くものの権利を守り、地域の争議支援の拠点に

中村地域センターは、地域で働く人たちに頼りにされる労働組合のセンターに「働く者の110番・中村労働相談所」をオープンさせる開所式を5月17日、名古屋市中村区の同センターで行いました。

開所式には、愛労連をはじめ、地域の主婦人や同区共産党市議、名古屋法律事務所などからの来賓を含む20名が参加しました。県内では、東三河、西三河に続いて3カ所目の常設地域労働相談所となります。同じ地域でたたくられている全印総連タケヤマ争議支援の拠点として役割を果たしていくために、中村地域センターに全印総連愛知地連が協力して設置したことが特徴のひとつです。



中村労働相談所のチラシ

愛労連の榎松佐一事務局長

長は「地域と単産が共同して設置したのははじめてのこと。身近なところで争議を支援してもらおうのは、本当に心強い」とあいさつしました。相談員を担当する年金者組合の井上勲さんは「初めてのことで不安もありますが、苦しんでいる労働者のためにもがんばります」と決意を語りました。

当面、電話相談は毎週水・木曜の11時～15時に、第4土曜の10時～15時には面接相談も実施します。

福保労青年部

さすく明日から使ってみる 新歡で仕事の技伝授式



「あかちゃん あかちゃん なぞ泣くのねー」 組合員の大半が民間のちゃん ミルクを飲んで 保育士である福祉保育労 やって。食器を洗う 青年部は、青年部を結成 スポンジで作った指人形 した5年前から「仕事の 使ったのわらへうたで 技・伝授式」と銘打った

新入組合員歓迎会を開いて います。この たりくみが始 まったのは、 「新しく職場 に加わった仲 間たちに、ど んな歓迎企画 なら喜ばれる だろう」「保 育の中で子ど

もたちが引きつけられ、 楽しく遊べる。仕事の技 (あそび) を伝授した ら役に立つんじゃない か」と始まったもので す。

今年、6月3日に名 古屋市昭和区にある池内 わらべ保育園で開かれ、 新人11人とまだ組合未加 入の仲間を含む22名が参 加しました。手をつなぎ 輪になっておこなう集団 あそびや、3種類の見て 聞かせるおもちゃづくり を先輩の青年部員が実演 も含めて和気あいあいと 伝授しました。参加者か らは「楽しかった。明日 からさすく使ってみた い」「参加してたくした 気分です」と感想が出さ れました。

県内の航空、船舶、鉄道、トラック、港湾など交通運輸関係の22労働組合は、6月5日に有事法制の廃案を呼びかける、「陸・海・空・港湾共同アピール」を県庁内の記者クラブにて発表しました。

この共同は愛労連や連合愛知の枠を超えもので、3年前の新ガイドライン関連法に反対する共同を上回るものです。

アピールで、法案は憲法や人権と自由、地方自治を踏みじり、戦争を最優先させる国家体制つ



記者会見を行う各労組の代表

陸・海・空・港湾22労組 所属共同アピール 有事法制へ 廃案へ

くりであり、交通運輸関係労働者を「業務従事命令」という罰則付きの協力を強制する大変なものとして強調しています。22労組はアピールを県下の全市町村長と議会議長に送付しました。与党が法案強行へ国会延長するならば、7月に大集会の開催も検討しています。

アンテナを張って、話を聞きに行つて みんなでつくる天白かわら版

地域のタウン情報紙のよう な素人はなれた紙面編集、年金者組合天白支部の発行する「天白かわら版」(月刊)です。編集長を勤めるのは細田博次さん(72才)。現役時代はグラフィックデザイナーでした。毎月1回、5人のメンバーで編集委員会を開いて企画を決め、分担しあつて機関誌を作り上げています。

編集が一番大切にしているのは、「みんなで参加してつくる」こと。毎月、最低でも15人以上の仲間が登場し、過去最高は27名。天白支部は101人の組織です



最新の6月号と7月号の企画書



編集長の 細田博次さん

7月号に向けた編集委員会

おどまほす

NO.5 生協労連

は、4月下旬にめいきん生協のEセンター(名古屋市中東区・守山区・尾張旭市・瀬戸市のそれぞれ一部を担当する事業センター)に転勤し、個人宅配事業(以下、個配)の責任者を務める鹿野正博さん。勤続17年目で、職場ではまとめ役のひとつ



鹿野 正博さん 生協労連愛知県協議会 名動生協労働組合

組合員さんとの対話 安全・安心・信頼のために

と名古屋市内と近郊に16の店舗があります。しかし、近年は生協組合員の個人宅に留守でも保冷箱に商品を入れて配達する個配利用者が増えてい

りです。 声を生かすために 試行錯誤

めいきん生協には「安全・安心な商品」を合い言葉に、近所の生協組合員が集まってグループで商品を利用する共同購入

ですが、個配を利用する組合員さんとは、直に会ってそうした声を聞く場が無いことが難しいところですね」と。個配事業はパートや業者委託などで行っていることもあって問題は単純では無いようですが、「いつもと違うわけにはいかないけど、機会があれば電話で連絡をとったり、最近では委託業者の担当者さんが自主的に配達担当者ニュースを作ったりしているんです」と語ってくれました。

個配を利用する組合員には、忙しくて買い物に行けない家庭も多く、記者自身もそうした利用者の中の一人。働くルール確立の大切さが改めて実感することが出来ました。

労働裁判はどうなる... 司法改革シンポに90人

政府はいま、司法改革をすすめています。とりわけ労働裁判の仕組みがどうなるのかを考えるシンポジウムが5月24日、名古屋市中区の産業貿易会館で開催され、労働者など90人が参加しました。

この集会は「市民のための司法改革を求める愛知の会」が主催、鶴飼良昭弁護士(司法制度改革推進本部労働検討会委員)のほか黒島英和・全国一般愛知地本委員長、藤沢真砂子・岡谷鋼機女性差別訴訟原告がパ

ネラーとして発言しました。シンポに先立って鶴飼弁護士が講演、「今日の司法改革論議は市民の立場からの改革要求と、一方で市場原理主義・新自由主義の立場からの改革が提起されて議論されている。日本の司法の現状はきわめてひどく人権小国といえる」と指摘。「企業社会のもとで過労死さえ引き起こされる事態のもと、権利が侵害されているが、その救済機関としての司法も民主的制

度として確立されてい

最後に現在、司法改革推進本部でも問題になっている「弁護士費用等の敗訴者負担制度」の導入に反対する「緊急アピール」を採択しました。